

令和7年5月27日

学校法人 溝部学園財務の現状について

令和6年度の学園の収支は、事業活動収入で1,455,386千円（前年比55,423千円減少）事業活動支出は1,507,687千円（前年比57,792千円増加）となり、事業活動収支差額は－52,301千円（前年比2,369千円減少）となりました。

平成27年度より学校法人会計基準の改正により計算書類の項目の変更があり、新基準に沿って表示しています。

主な項目の変更

帰属収入⇒事業活動収入 消費支出⇒事業活動支出 帰属収支差額⇒事業活動収支差額

1. 「収支目標」について

事業活動収支差額（帰属収支差額）については毎年黒字を維持し、同比率については、例年最低5%以上を目指していましたが、令和5年度補正予算の同比率は、学生・生徒数の減少による事業活動収入の減少を見込み2.84%としていました。

2. 「令和6年度の収支状況」について

（令和6年度決算）

事業活動収入	1,455,386千円
事業活動支出	1,507,687千円
差 額	－52,301千円 （比率－3.59%）

＊令和6年度は高等学校、幼稚園、保育園の3部門で黒字決算となりました。

（収容定員充足率）

法人全体	81.10%
短期大学	80.50%
高等学校	98.57%
幼稚園	90.45%
専門学校	23.64%

3. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

令和6年度の法人全体の経営状態の区分については、以下の判定結果よりB Oランクの「イエローゾーンの予備的段階」の区分となりました。

- ① 教育活動資金収支差額が、3か年のうち2年以上連続黒字の状態である。
- ② 外部負債は約定年数または10年以内に返済できる。
- ③ 修正前受金保有率の100%以上である。
- ④ 経常収支差額については、3か年のうち2年以上赤字となっている。
----- ここが2年以上黒字であればA3ランクとなる。
- ⑤ 経常収支黒字幅が10%未満である。-----ここが10%以上であればA2ランクとなる。

以上5項目の指標における判定結果がB Oランクとなり、14ランク中4番目に位置している。